



No. 34

続々招へい研究員あれこれ

63年度 ITIT フェローの最後は 2月12日に来日したフィリピン鉱山地球科学局 (MGB) からのドミンゴ (E. G. Domingo) さんとカストロ (M. A. de Castro) さんでした。協力テーマは「緊急希少鉱物資源」で 日本側リーダーは鉱床部の富樫課長です。

このプロジェクトは従来の二国間による協力とは一味違い 日本と他の先進国とが共同して途上国に対する協力を行う形態をとるもので 63年度からスタートした新政策です。その第1号として当所のテーマが採用されました。本件の場合 共同協力機関は米国地質調査所 (USGS) です。

ドミンゴさん(写真1)は 時期を合わせて来日した USGS の研究員 (後述) と一緒に 南薩地域の金鉱床の調査研究が主な仕事。一方のカストロさんは技術部安藤課長の指導による希少元素分析技術の習得が目的でした。

ドミンゴさんは北大留学の経験を持ち MGB に所属する岩石鉱物分析センター (PETROLAB) の所長を務める実力派ですが カストロさんは良家のお嬢さんタイプの若手研究員です。調査旅行主体のドミンゴさんを横

目に 実験室にこもり切りのカストロさんを 海外室の若手がドライブ旅行に引き出し (写真2) 大変喜んでもらえた一幕もありました。

3月14日までの滞在でした。

2月17日 USGS から2名の研究員が来所しました。1人は先に述べた希少鉱物資源プロジェクトのUSGS 側リーダーのカニンガム (C. G. Cunningham) さん (経費は USGS 持ち) もう1人は同プロの共同研究者ライトウーバ (J. J. Rytuba) さん (重点基礎による招へい) です (写真1)。

同プロジェクトの協力協議のため 昨年10月下旬に渡米し すでに顔馴染みの富樫課長と前述のドミンゴさんと帯同で 鹿児島県下の鉱床調査 現地討論会などに参加し 日米比3国間の共同研究推進に向けての基礎固めを行いました。

カニンガムさんは2月27日に帰国しましたが ライトウーバさんは3月31日まで滞在し 南薩地域の鉱化作用に関する鉱床学的 地球化学的研究に従事しました。

科学技術振興調整費による「リフト系の研究」が63年

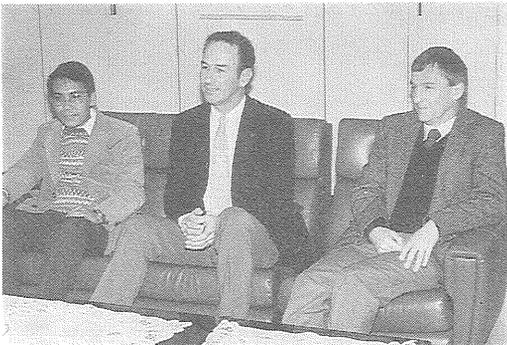


写真1 左からドミンゴさんカニンガムさん
ライトウーバさん



写真2 カストロさん (左端)

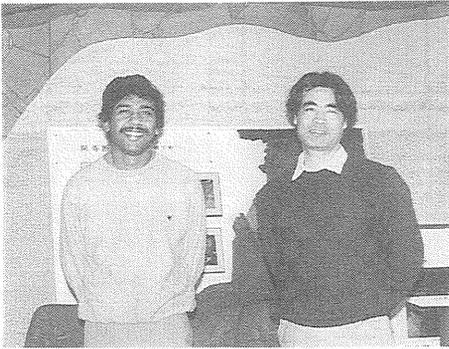


写真3 デオさん(左)

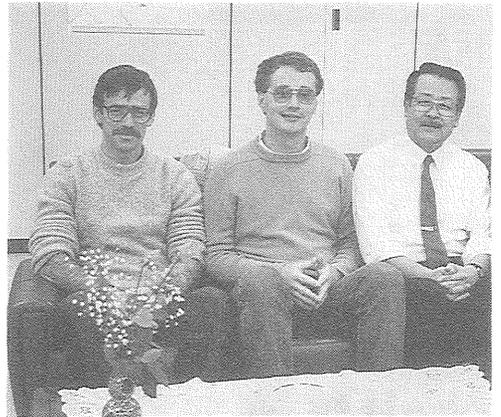


写真4 ジャービスさん(左)と
ブラウンさん(中央)

度から新しくスタートしました。日仏共同が本研究のベースですが、昨年11月末から本年1月初めにかけて実施された北フィジー海域の調査航海には、フィジーや米国の研究者も参加しています。

これら共同研究者の中から3名の研究員が来所しました。フィジー鉱物資源局のデオ(Satendra Deo)さん(3月3~30日 写真3) ハワイ大学地球物理研究所のジャーヴィス(P. A. Jarvis)さんとブラウン(G. R. Brown)さん(3月12~31日 写真4)です。

当所海洋地質部研究員との意見交換の他、デオさんは主として海洋科学技術センターで、また、ハワイ大の2人は琉球大学などで、それぞれ情報交換等の研究活動を実施しました。

ITIT 研究管理者招へい事業により、63年度は3名の入人を招くことができました。

昨年11月29日、インドネシア石油ガス技術開発センターのシツモラン(B. Situmorang)探査部長が、炭化水素資源開発に関する協力協議のために来所しました。院長表敬等公式日程の他、燃料部の平山主研(当時)や藤井課長らと実質的な討議を重ね、当面、インドネシアの炭田開発への協力を推進する方向での合意を得、12月5日に帰国しました。

3月15日から29日までは、フィリピン環境・天然資源省から2名の管理者を招へいました。外国援助・特別事業担当のアブユアン(L. T. Abuyuan)次官補と鉱山地球科学局(MGB)のバルセ(G. R. Balce)局長です。

フィリピンでは職場に占める女性の地位が高く、アブユアンさんもその一人で、同省の対外協力案件を統括する要職に就いています。MGBは昨年の改組により前のBMG当時からは大きく縮小されましたが、当所とは冒頭に述べた「希少鉱物」の協力に加えて、63年度から

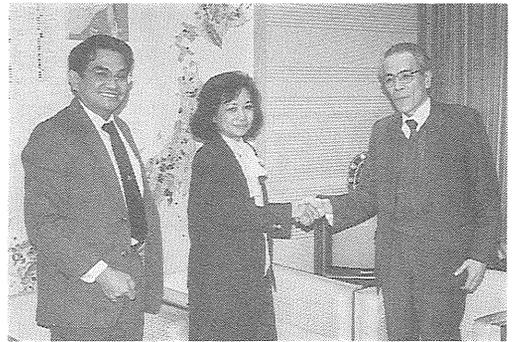


写真5 バルセ(左)さんとアブユアン(中央)さん

「堆積盆層序対比」の研究協力が開始されることになっており、協力機関としての重要性は変わりありません。バルセさんはBMG時代の次長で、当所とは旧知の仲です。

新規協力計画の協議書作成を中心に、公式行事、見学旅行等の日程を、名取課長(新規テーマ・リーダー)のアテンドにより消化しました(写真5)。(遠藤)

地質ニュース	第405号	5月号
	定価 ¥650	〒実費
昭和63年5月1日	発行	
編集	工業技術院地質調査所	
発行人	林久雄	
発行所	株式会社実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	〒102	
	Tel. (03)265-0951(代表)	
	振替口座 東京1-32466	
総発売元	株式会社実業公報社	
	出版事業部	